

第3回長島町立小中学校等統合再編推進委員会

日時：令和5年7月18日 午後3時00分～午後4時55分

場所：長島町役場指江支所 2階大ホール

参加者：長島町立小中学校等統合再編推進委員会（3名欠席）

町長部局：総務課長、総務課長補佐

委託業者：公益財団法人鹿児島県住宅・建築総合センター2名

教育委員会：教育長、教育総務課長、社会教育課長、教育総務課3名

教育総務課長補佐： これより第3回長島町立小中学校等統合再編推進委員会を開催する。
開催にあたり委員長、教育長が挨拶をする。

委員長： 統合再編は議会などを通して決定するが、ここにいる委員の意見が非常に重要である。
忌憚のない意見をお願いしたい。

教育長： 前回の現地視察を経て、色々思うところがあると思う。この統合再編問題は、全員の
意見が一致することは難しいと思うが、一緒に語り合う中で課題を1つずつ解決してい
きたい。
子供たちのためにより良い再編ができればいいと思う。そのためにも、忌憚のない意
見をいただきたい。

教育総務課長補佐： それでは議事に入る。

委員長： まず、長島町立中学校に伴う基本構想（案）について説明を求める。
（鹿児島住宅・建築センターから長島町立中学校に伴う基本構想（案）の説明）

- ・中学校統合再編の考え方
- ・これまでの経緯
- ・基本構想の位置付け
- ・上位計画

第1章 長島町立中学校の現状・課題と再編の必要性

- ・各中学校（校舎）の現状

第2章 新中学校再編整備の基本理念・基本方針

第3章 新中学校の規模・所要室

第4章 新中学校の位置

第5章 新中学校の整備スケジュール

1次判定の結果

項目		鷹巣中学校	川床中学校	長島中学校	長島高校跡地
1次判定	運動場の面積 3,700 m ² 以上	有り (7,857 m ²)	有り (7,697 m ²)	有り (4,640 m ²)	有り (12,792 m ²)
	用地買収等の可能性	↓	↓	↓	↓
	土砂災害特別警戒区域 土砂災害警戒区域	区域外	区域内 (土砂災害警戒区域)	区域内 (土砂災害警戒区域)	区域外
判定結果		判定継続 二次判定へ	判定終了	判定終了	判定継続 二次判定へ

委員長： 今の説明を受けて、質問・意見はないか。

委員： 今の説明で、最終的に鷹巣中学校と長島高校跡地が場所として2次判定に進んだことには賛成である。

平成26年に長島高校跡地に中学校を再編することは議会が財産面を大きな理由として否決になった。

もし仮に、長島高校の解体費を県が負担するとなれば、高校跡地も再編場所として適応されるのか。

またこれまでの説明などを聞くと、鷹巣中学校が1番最適であるというニュアンスに聞こえるが、前回の現地視察で送迎バスの駐車スペースが足りないと感じた。そういった場合、近くの土地の買収等ができるのか。

委員長： 鷹巣中学校の場合は、近くの総合運動場等が整備されており、利便性はあると思う。

長島高校跡地は鹿児島県の土地である。高校を解体、学校の新設となれば県との話し合いも必要になってくるのではないかと思う。

子供たちが安全に通学できる、教職員が働きやすい環境のためにも、早めの統合再編をしたい。

委員： スクールバスについて、鷹巣中になった場合と長島高校跡地になった場合とそれぞれどのように計画しているのか。

教育総務課長補佐： 現在の集落の生徒の人数からいくと、29人乗りのマイクロバスを使用した場合、鷹巣中、高校跡地どちらも8台使用することになる。この場合、それぞれの学区の生徒は徒歩通学になる。(鷹巣中→鷹巣校区、高校跡地→平尾校区) また、中型バスの場合は鷹巣中、高校跡地それぞれ5台ずつ必要になる。

この台数はすべての方が利用した場合の試算である。

委員： 今バスの台数の説明があったが、現実的にバスを運行することは可能なのか。

教育総務課長補佐： 実際町にはマイクロバス 8 台も中型バス 5 台もない。現在運行しているコミュニティバスもこれから先どうなるかわからない。このバス問題は町全体で考えていかなければならない。

委員： 平成 26 年に議会が長島高校跡地に中学校を再編するという案を否決した。その中で、高校の解体費などの財政面を否決理由の 1 つとしていた。

自分の考えとしては、平成 26 年の時点では、住民の気持ちが統合に対してあまり熟していなかったと思う。

また、長島高校は県立高校である。4 つの中学校が 1 つになるというのは、県にとってもいろいろな面でメリットがあり、県の協力も得られるはずである。町として県に協力依頼などの交渉はしたことがあるのか。

教育総務課長： 正式な申し入れはしていない。しかし事務レベルで、昨年 12 月に県の学校施設課を訪問した。県としては、長島町だけでなく同じような事情がある自治体もあるため、土地は教育施設に使うのであれば無償譲渡、解体費については県が負担することはないと口頭で回答があった。

委員： 高校に解体費を町が負担するとなった場合は、高校跡地に学校を新設する気はないのか。ないのであれば、候補地に入れなくてもいいのではないのか。

教育総務課長： この会は、委員を通して民意を知りたいという町長の想いもある。教育委員会としては、子ども達が最適な環境で教育が受けられることを第一と考えている。また、町長部局は、財政的な部分も考える必要がある。まだ何も始まっていないので、委員の意見や課題を出してもらって、最終的な結論に導いていきたい。現段階で教育委員会として長島高校跡地を排除する考えはない。

教育長： 今日は一次判定の結果がこういう状況であったというのを説明していただき、皆さんに周知したところである。

これから二次判定も始まる。子どもたちにとっての教育環境、安全面も含めてどうするか、これから先委員会として進めていければと思う。

いろいろな意見があると思うが、これから二次判定があることを前提に考えていただきたい。

委員： 平成 26 年の否決理由としては、長島高校跡地に中学校を再編することに対する反対陳情が 2、3 件提出されたため、民意としてまだ中学校 1 校に再編することに理解が得られて

いないと思ひ否決した。

一次判定の結果を見ると、土砂災害区域などの安全面を考慮した結果、鷹巣中学校と長島高校跡地が残っているわけだが、二次判定に進む前に現段階でいろいろな事業費がわかると思う。

長島高校跡地だと、全面新設に加え解体費もかかる。しかし鷹巣中学校であれば、既存の校舎の改築、改修で済むのではないか。厳しい町の財政事情もあることから、どのくらいの費用がかかるか二次判定では示していただきたい。

総務課長補佐： 基本構想の結論としては、一次判定を受けて鷹巣中学校、長島高校跡地に絞って考えていきたい。

今後それぞれの場所に中学校を持ってきた場合の費用などを積算していきたい。

委員： 子どもたちの人数は年々減ってきている。子どもたちにどのような教育を受けさせたいか、どのように育てるかを念頭に置いて考えていかなければならない。

子どもたちはこれから100年近く生きる。100年後も長島で教育を受けられてよかったと思える教育環境を作らなければならない。

もちろん校舎や場所も大切だと思うが、どのような教育をするかもとても重要である。義務教育学校や幼小中一貫校なども検討していくべきではないか。

委員： 子どもたちのことを考えた学校編成であり、場所はその次ではないか。子どものためにどう動くか、子どものための統合再編であるなら大賛成である。

教育長： 一貫教育の話がでたが、教育は多様な考えがある。教育の最終目的は人格の形成だと思っている。

一貫教育もとても素晴らしい。しかし、同年代の中で学び合い競い合うことも大切だと思う。

どの形が長島町にとって相応しいのか、将来長島町の学校教育としてどうあるべきかなどなの見通しが大事。

委員： 先日、長島町部活動地域移行推進協議会に委員として参加してきた。現在の中学校の部活動の状況では、学校単位でチームが作れないため、地域クラブを立ちあげて子どもたちが活動できるようにしようと取り組もうとしている。

希望した部活動に人数が足りないため、町外のクラブチームに通ったり、合同チームで試合に出場したりしており、このことから適正な人数が必要であることからこの協議会は発足している。

人数が足りないことで、自分の特技を伸ばせないということがないように、ある程度学校には人数が必要であると思う。

また、今回アンケートが配られているが、このアンケートは今後の統合再編の判断材料になるのか。

教育総務課長補佐： アンケートについては、前回現地視察をしていただいた後、意見や感想がでなかったため、委員の方々の考えを知りたくてアンケートを取らせてもらった。今回の結果がそのまま方向付けになることはない。

これから住民の意見を聞いて基本構想や基本計画を作っていくため、この委員だけですべて決めるわけではない。

委員： 基本構想の位置づけを見ると住民説明会が計画されているが、いつどこで開催する予定なのか。

総務課長補佐： 実施場所については、中学校区を想定している。実施時期については、基本計画の案が出来た時点で、このような計画で学校を再編すると説明して理解を経ていきたいと思っている。

今回の基本構想案が承認されたら、ホームページに掲載し、インターネットで住民から意見募集をする予定。

委員： インターネットよりも各公民館でワークショップをするなどしたほうがより様々な年代から多くの意見が出るのではないか。

委員： 先ほどから話の中に一貫校や義務教育学校の話が出ているが、そうなった場合、小学校も入ってくるため必要面積も変わってくると思うが、そのあたりはどう考えているのか。

総務課長補佐： これまで町長部局、教育委員会で義務教育学校や統合再編された中学校を視察してきた。その結果、中学校は1校に統合再編ということで第1回のこの会で決議をいただいた。これを受けて総務課としては中学校の再編に特化して今回の基本構想を作成した。今後の総務課の動きとしては、今回二次判定に進む鷹巣中学校と長島高校跡地の2校を積算し、どれだけ費用がかかるのか、またどのような方針で行くかなどを協議していきたい。

教育総務課長： 教育委員会としても、毎月行われる定例教育委員会等で協議しており、また、義務教育学校などに研修も行ってきた。研修をした中で、小学校は地域の核であるため、本町としてはまだ義務教育学校は早いのではないかという結論に至った。

しかし、中学校に関しては部活動や学校生活を切磋琢磨するためにはある程度の人数が必要となってくる。

ただ、将来的には義務教育学校も可能性があるが、現時点では長島本島に中学校を1校に統合再編することにポイントを絞って考えていただきたい。

委員： かつて統合された学校に赴任したことがあるが、ソフト面を充実させてから統合するというのは非常に大切である。

資料をみると、学校の開校時期は令和9年～令和10年となっているため、時間は十分ある。それぞれの学校の伝統をどうすり合わせるか、特色ある行事をどう残していくかが大切。

またハード面については、敷地として鷹巣中学校と長島高校跡地が二次判断まで残っているが、先日行われた鷹巣中学校の学校運営委員会で統合再編についての話がでた。その中で、仮に鷹巣中学校に統合再編が決まった時、本当に入りきるのかという質問があった。現状ならギリギリ入る。しかし1学級3クラスならば窮屈になるためどうしても増設が必要になる。

長島高校跡地も解体費用が問題になっているが、もし骨組みに耐震性等があれば内装だけ改修などできないのか。

またスクールバスについて、鷹巣中はスクールバス1台と公共のバス2台の計3台を利用している。この3台は正門前に5分おきに停車し重なることがないようになっている。

しかし、スクールバス8台が5分おきに到着するとなれば、最初のバスから最後のバスまで40分間が空くことになる。8台一気にバスがつくことはないと思うが、それなりの敷地が必要だと思う。鷹巣中学校の前に整備をしている広場なども使うことはできないのか。

以上のことを次回にでも回答いただきたい。

委員： 今日の会のテーマは基本構想の周知、一次判定の周知、意見交換だったと思うが、次の会はどのようなものになるのか。

教育総務課長： これから先に進むために、基本構想（案）を承認していただき、これから住民の意見などを聞きながら進めていきたい。

次回は、二次評価もあるのでそちらの結果の周知、それを受けての意見交換になる予定。

委員： 今回はハード面の基本構想ということでもいいのか。

教育総務課長補佐： 今回はハード面の基本構想（案）の承認である。

委員長： 今回の長島町立中学校再編に伴う基本構想（案）について承認でよろしいか。

委員： 異議なし。

委員長： これからのスケジュールについて説明を求める。

教育総務課長補佐： 総務課からもあったように住民から意見募集を行う。その意見を集約し、基本計画を策定していく。また、基本計画策定時には委員会から意見をいた

だきたい。

委員： 資料の出し方によっては、世論を誘導できる。

例えば、中学校再編も鷹巣中学校の校舎に増設する案と長島高校を解体し、跡地に中学校を新設する案があるとすれば、コスト面の数字だけ見せるとものすごい差に見える。

しかし、学校を建てるとなると国や県から補助金が出る可能性もあるし、鷹巣中学校の校舎も創設してから40年経っているため後20～30年で解体して建て直さなければならぬかもしれない。

そういった表面の数字だけではわからない事情があると思う。住民にもわかるような予備的な説明もしてほしい。

委員： ここにいる委員は、会で発言しなくても、これまでの委員会や前回の現地視察をしてそれぞれ意見や思いがあると思う。

自分の意見としては、長島高校跡地周辺の県道は木の伐採等により以前の暗いイメージから明るくなっており印象が良い、長島高校跡地に学校を新設するならば、鷹巣中に鷹巣小を持ってきて、鷹巣小跡を役場や運動場の駐車場と利用するなどを考えてきた。

中学校統合は保護者の願いである。早急に実施して欲しい。

委員： 今回の会では様々な意見や思いが聞けたと思う。今後も今日出た意見を生かしながら進めていきたい。

その他意見がなければ以上で議事を終了する。

教育総務課長補佐： 今回のアンケートについては今後の参考にしたいと思っている。

その他特になければ以上で閉会する。